

神奈川県 たかっぴさん 女性

旦那へ

まだ知り合っ間もない頃、箱根の温泉に向かう車の中でナボナが大好きだって話をしてくれました。

”ナボナ”って名前を思い出せなくて必死で調べた結果、家のすぐ近くにあることを知って

喜んで買いに行っ、私の分まで買っくれて二人で食べました！

その日から給料日には私から全種類買っありがとうございますを伝えています！

満面の笑みで幸せそうに食べる姿にいつも癒されています。

いつもお仕事大変なのに頑張っくれてありがとう！子供も産まれてギャーギャー泣いてて

ゆっくりできないかもしれないけど、これからも家族3人で楽しい家庭を作りましよう！

神奈川県 あきさん 女性

夫へ

まだ子どもが産まれてなかった頃、和菓子好きな私に、よく寄り道して大福やお団子を買っきてくれたね。

2人家族なのに「俺も食べたかったし」と言って必ず3種類買っきて、

全部半分に分けて味わっ食べたのが、今でも忘れられない思い出です。

今は子どもも産まれて引越っしてしまったけれど、またあの亀屋万年堂で和菓子を沢山買っにいこうね。

東京都 ナボナフリークさん 男性

上司から部下へ

3年前の5月、私は30年間勤め上げた銀行退職の日を迎えていました。

職場である支店では業務終了後に送別の挨拶をしてから、去る者がお菓子を配る伝統があり、

私は大好きなナボナを選んで皆に配りました。

食べ始めるとあちこちで「美味しい！」の声。そのうち若手の一人が

「どうしてナボナなんですか？」と尋ね、「昔から大好きだからだよ」と私。

すると別の年配が「ナボナはお菓子のホームラン王で、王選手のCMが有名なんだ」と

得意気に語り出し、周囲からは「私も知ってる」、「王選手って王会長のこと？」など年配、若手が

入り混じって会話が大きい弾みました。そうです。年配、若手の分け隔て無い雰囲気我が

支店の大きな財産で、銀行最終日にナボナがそれを再認識させてくれました。

後輩諸君、素晴らしい職場で共に働くことができ、心から感謝しています。

そしてこれからも絆を深めて、魅力的な職場であり続っして下さい。

東京都 むつみんさん 女性

なぼなへ

下町のマンションに引っ越して数年後、我が家に迎えたパピヨンの仔犬。

東急沿線に住んでいた縁でいつも広告を見て愛着があり大好きなお菓子の名前をとって「なぼな」と名付けました。とても人懐っこく育ち、お散歩中も人見知りせずに愛想を振りまく「ちいさななぼな」はご近所でもすぐに人気者。

「お名前は?」「なぼなです」「ああ！亀屋万年堂の!」「王さんのCMの!」「ホームラン王の!」

東京の下町で長く住んでいる方はみんな王貞治さんのCMを知っているので、

すぐ覚えてもらえ、私にもご近所にたくさんお友達が出来ました。

毎日挨拶する人。数日合わないと気にかけてくれる人。犬に触りたい保育園の子供。

ご年配のお友達からは地域の歴史や人間関係も教わり。

「なぼな」のおかげで人生が豊かになったから、犬への恩返しと保護犬を迎えることも出来ました。

本当に「なぼな」ありがとう。ずっと元気でいてね。

茨城県 なぼちゃん 女性

恋人へ

誕生日プレゼントといえば、高価なものを思い浮かべますね。

でも、お互いお金のない中、2人の時間を作っていたので、私たちのプレゼントはお菓子でしたね。

周りの人から見たら簡素にも思われるかもしれないけど、お互いの好きな物をあげたり、

もらったりするのは、私にとって楽しいことです。

何より、普段の会話から私の好きなものをいつの間にか把握している貴方がうれしかった。

貰ったお菓子の中で、特に私が気に入っているのがナボナです。

美味しかったよと伝えると、次に会ったときにナボナをたくさん買ってきてくれたこともあったね。

待ち合わせ場所に現れた貴方がさりげなく紫の亀屋万年堂の袋を下げていたり、

三つの六角形のマークがついた大きな紙袋を持っていたりするときはびっくりしちゃった(笑)。

いつも私を笑顔にしてくれるお菓子をありがとう。

ナボナや和菓子をくれるときの貴方の笑顔も亀屋万年堂のお菓子も、二人の大事な思い出です。

